



中国語論説体とは何か 学習の重要性和と直面する諸問題

講師 麗澤大学名誉教授

三瀧正道氏

11/21(土)
13時～15時

立命館大学衣笠キャンパス
創思館カンファレンスルーム

長年、なおざりにされてきた 論説体の研究と教育。

そのツケは大きく、大多数のビジネスマンがインターネットの時代にネットから言語での情報を取得できず、また、研究者でも中国人の助力がないと資料を正確に読みこなせない者が多い。官庁でもこの問題は深刻である。なぜこのような事態になったのか、今後、どうすべきか、論説体の実態解明も試みつつ、中国語教育の現状を踏まえて、そのあるべき方向を提言する。



講師紹介

1948年東京生まれ。麗澤大学名誉教授。日中学院講師。上海財経大学国際商務漢語教学資源開発基地専科委員会委員。NPO法人日中翻訳活動推進協会(而立会)理事長。(株)グローヴァ顧問。時事中国語、現代中国事情、日中異文化コミュニケーションを研究。2001年よりWeb上で毎週、中国時事コラム『現代中国 放大鏡』を連載、北京日本商会、東海日中貿易センターでもコラムを執筆中。自ら考案した『レベル式教授法』で翻訳者養成添削事業を展開。現在、文化部を通し、全国の中国人学習者にネット通信講座を実施中。

参加無料
事前申込制



詳細・お申し込みはこちら>>